（様式１）

令和６年度入学生　キャリア教育全体計画書

学校番号	１３	学校名（課程）	長野吉田　　高等学校（全日制）

１　全　体　目　標

○　社会的･職業的自立に向けて、必要な能力と態度を育て、生きる主体としての自己を確立させる。

２　現状･課題

生徒の大半が上級学校への進学を志望する中で、目的意識や将来設計が不明確なまま進学するケースや、自己理解が不十分なために進学後のミスマッチに悩むケースがある。高校における進路選択を人生におけるキャリア形成の観点から捉え、上級学校進学からさらには就職後を通じて、社会的･職業的自立が達成できるための基盤となる能力と態度を育成していくことが課題である。

３　つけたい力

a 他者を理解する力、他者に働きかける力、コミュニケーション能力、リーダー･フォロワーシップとチームワーク力
b 自己理解の深化、自己受容、自己の動機づけ、自己の役割の理解、主体的行動、忍耐力、ストレスマネジメント
c 課題発見力、計画立案力、実行力、情報の理解･選択･処理、本質の理解、原因の追求、評価･改善
d 学ぶこと･働くことの意義や役割の理解、進路選択と将来設計の立案、PDCA

４　内　容

指導項目	指導方針〈対応する項目〉
①自己の在り方、生き方を考え、社会参画の意識を醸成する ②仕事や社会で必要となる力（基礎的･汎用的能力）を育む ③様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促す ④卒業後の進路を選択し、職業を通してどう社会と関わり、どう生きたいのかを構想し続ける力を育む	ア　人生をどう生きるか、生きることの意味、自己と他者や社会の関係などについて関心をもち、人間や社会のあるべき姿について考えを深めさせる。〈①②〉 イ　他者の価値観･個性･多様性を理解し、自己との差異を認識し受容させる。〈①②〉 ウ　学校生活･学習活動･就業体験等から、勤労観･職業観･人生観･世界観などの価値観を確立し、主体的に行動させる。〈②③④〉 エ　進路実現のために、今取り組むべき課題は何かを考え、実行させる。〈②③④〉 オ　年度末に評価を実施し、次年度へ向けて課題を発見し改善活動をおこなう。〈①②③④〉

指導場面等	指導計画･キャリア教育の視点等〈実施学年〉
教科の授業	･学習と社会とを関連づけながら、学習が社会的自立の基盤となることを意識させて取り組ませる ･教科の特性を生かしながら、「基礎的･汎用的能力」を育成する指導を心がける ･双方向型･共同型の授業形態を積極的に活用する
総合的な探究の時間	･人間･社会･自然との関わりの中から自らの生活･行動について考え（1年）、さらに自分にとって学ぶことにはどのような価値があるのか問いながら（2年）、現在及び将来の自己のあり方･生き方と関連づけられる事象（3年）について教科横断的･総合的に探究する
特別活動	･HR 活動における進路探究（1･2･3年） ･HR 活動、生徒会活動における集団の一員としての学校づくりへの参画（1･2･3年） ･学校生活･行事における勤労･奉仕的活動への参加（1･2･3年）
校外の体験活動 （就業体験活動等）	･就業体験と事前事後学習（ｷｬﾘｱﾁｬﾚﾝｼﾞﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ･ジョブシャドウの活用、PTA･同窓会との連携）（全） ･進路研究と大学･企業訪問（1･2年）　　･オープンキャンパス、研究室訪問（2･3年）
地域や産業界等との連携	･地域や産業界で活躍する同窓生による講演会と教員研修
評価	･キャリアガイダンスレポート作成と発表、またそれらについての外部評価 ･「学びの基礎診断」測定ツールの活用　　･県教委の実施する「生徒意識調査」の活用
中学校との連携 （指導の継続性）	･中･高のつながりを意識したキャリア教育が実践できるよう連携を図る ･中学校段階での社会的な発達度を把握し、個々に応じた継続的な指導を図る

校内の推進体制	・キャリア教育推進委員会（委員長、教頭、進路指導、教務、生活指導、各学年担当） ・教職員全員による推進体制、各担任と委員会の連携
キャリア・パスポートの取組	・キャリアガイダンスレポート作成と発表を実施 ・諸活動の継続的な記録・蓄積によりポートフォリオに結び付け、経験から学ぶ習慣を形成させる

5　学年別指導計画

	1 年	2 年	3 年
目標	○自己理解の深化と自己受容 ○勤労観・職業観の育成	○勤労観・職業観の確立 ○将来設計立案と進路目標の吟味	○将来設計と社会的移行への準備 ○進路目標の達成
主な取組	○授業、総合学習、特別活動 ○性格検査、職業適性検査 ○大学・企業見学、就業体験 ○進路研究と2年次の科目選択	○授業、総合学習、特別活動 ○大学訪問、就業体験 ○オープンキャンパスへの参加 ○進路研究と3年次の科目選択	○授業、総合学習、特別活動 ○オープンキャンパスへの参加 ○進路の現実的探索と試行 ○共通テスト受験
評価	・生徒意識調査（県教委） ・レポート作成と発表会	・生徒意識調査（県教委） ・レポート作成と発表会	・生徒意識調査（県教委） ・学習への取り組みの自己評価

年間指導計画と各取組の関連　　＊就業体験活動、校外活動は□で囲む

	教　科 ／	総合的な探究の時間 ／	特別活動 等 ／	その他（面接・評価等）
1年	（記入例）・共生社会と福祉（家庭） ・ともに生きる社会を目指して（公民）	福祉社会における私たちの役割を考える 特別養護老人ホーム訪問（交流）	特別養護老人ホーム訪問に向けて（講話及びホームルーム活動）	ポートフォリオを用いた自己評価
	4 シラバス（学習の手引き）配布 学習オリエンテーション 7	探究入門→課題発見 オリエンテーション 自己・他者理解 学習実態調査 進路講演会、キャリア学習	高校生活の目標 文化祭	意識調査 面接 三者面談
	夏休 学習合宿	キャリア調査研究	キャリア・チャレンジ・プログラム、ジョブシャドウ1	
	9 12	同窓生によるキャリアガイダンス 大学・企業研究 文理選択適性検査 進路ノート 2年次科目選択	平和・人権学習	キャリアガイダンスレポート作成、発表 大学・企業訪問レポート作成、発表 探究学習発表(2 年)研修 三者面談
	1 3 国語（小論文）	キャリア学習（1年のまとめ・分析発表）		生徒意識調査（県教委） 探究学習・課題体験合同発表会
	春休 課題		医療・看護系職場体験	
2年	4 シラバス（学習の手引き）配布 学習オリエンテーション 情報（ディベート） 7	学習実態調査、進路分野探究 キャリア学習講演会 キャリア学習（大学調べ）、進路ノート 修学旅行事前学習	文化祭	意識調査 面接 三者面談
	夏休 夏期集中学習	フィールドワーク(大学訪問) 職業調べ 探究学習	オープンキャンパス キャリア・チャレンジ・プログラム、ジョブシャドウ 医療・看護系職場体験	
	9 地理西日本の環境・産業・歴史など） 12	修学旅行事前・事後学習 進路ノート 大学模擬授業 3年次科目選択	修学旅行講演会 修学旅行 平和・人権学習 生徒会役員選挙、新執行部発足	大学訪問・オープンキャンパスレポート作成、発表 探究学習発表会 三者面談
	1 共通テスト体験（国語・数学・英語） 3	キャリア学習（1年のまとめ）		生徒意識調査（県教委） 探究学習・課題体験合同発表会
	春休 課題			
3年	4 シラバス（学習の手引き）配布 学習オリエンテーション 7	オリエンテーション 進路講演会 進路探究	生徒会 文化祭	意識調査 面接 三者面談
	夏休 夏期集中学習 夏期講習	進路探究	オープンキャンパス	

	9 政治経済(経済原論、企業ほか) 特別編成授業 12	進路探究	共通テスト出願	面接 三者面談
	1 各教科によるまとめ		共通テスト 高校生活のまとめと反省	1 各教科によるまとめ 3